

## 令和4年度活動報告（御嶽山火山防災協議会構成機関の取組）

資料1-2

○令和4年度に協議会構成機関が実施した御嶽山火山防災対策の取組

### 1 避難対策

	実施項目	実施主体	概要	実施時期
1	王滝頂上避難壕移設工事	王滝村	(目的) 王滝頂上から剣ヶ峰間の規制緩和に向けた安全対策 (内容) 王滝頂上避難施設完成後に、令和元年度に王滝頂上に設置をした避難壕を八丁だるみまごころの塔付近に移設。 令和3年度は基礎部分が完成。令和4年度に移設完了。	R3.6 ～ R4.12
2	火山に関する情報の発表	気象庁 地震火山部 火山監視課 火山監視・警報センター	噴火予報を発表して噴火警戒レベルの引下げ(2→1)を行った。 また、レベル2の期間中、火山の状況に関する解説情報を定期的に発表し、火山活動の状況及び防災上の警戒事項等についてお知らせした。	～ R4.6.23
3	噴火警戒レベルの改定	気象庁 地震火山部 火山監視課 火山監視・警報センター	新想定火口(地獄谷火口)に基づく噴火警戒レベルの改定を行い、運用を開始した。	R4.4.18
4	山小屋関係者への新想定火口にかかる説明	岐阜地方気象台 (木曾町主催)	木曾町主催の安全対策連絡会議において、想定火口変更の運用開始にあたり山小屋関係者等を対象に、岐阜地方気象台から新しい想定火口域について、御嶽山火山研究施設より御嶽山の火山活動状況について説明した。	R4.4.6
5	御嶽山火山活動状況説明会の実施	長野地方気象台	御嶽山山小屋関係者等に対し火山活動の状況及び今後の見通し等について説明を行った。	R4.5.18 R4.6.21 R4.11.24
6	情報伝達訓練、試験	木曾町	(内容) 山小屋との連携を図った情報伝達訓練、防災行政無線の通信テスト (成果) 無線機、屋外スピーカーの使用方法確認、防災行政無線の受信確認(山小屋、屋外)	R4.6 ～ R4.10
7	携帯電話不感地帯解消	木曾町	(内容) 夏山シーズンの間、携帯電話基地局の稼働、通信の確認 (成果) 携帯電話不感地帯(二ノ池周辺)の解消	R4.6 ～ R4.10
8	防災カメラの稼働	木曾町	(目的) 剣ヶ峰頂上付近の現在の状況を把握する (内容) 御嶽神社祈禱所へ防災カメラを設置。太陽光発電及び、携帯電話の電波を利用 (成果) 剣ヶ峰山頂のリアルタイムの状況を把握し、防災対応に活用	R4.6 ～ R4.10

9	王滝口登山道 パトロール員による 巡視	王滝村	(目的)・登山者への安全指導や、登山計画書提出の呼びかけ等の啓発対策を実施 ・登山道及び入山規制場所の監視 ・非常時に登山者の避難誘導を実施 (内容)・1日2名を登山道入口付近及び入山規制場所に配置して、安全指導などの啓発及び監視、悪天候時の登山道通行止め及び登山者への周知。 期間:7月10日～10月23日 延べ人数:254人 ・王滝頂上避難施設運用開始準備、登山道整備、規制看板設置・撤去など(規制緩和前後に実施) 実施日数:9日 延べ人数:13人	R4.6 ～ R4.10
10	警察・消防合同の山岳救助担当者会議	下呂警察署	警察及び消防の山岳救助担当者による会議を開催、互いの機関の救助体制に関する情報交換を行い、連携強化を図った。	R4.6.9
11	山岳救助訓練	下呂警察署	御嶽山における負傷者救助を想定し、救護及び搬送訓練を実施した。	R4.6.13
12	木曽警察署登山訓練	木曽警察署	(目的)多くの署員が火山防災対策上、「御嶽山火山防災避難計画」に基づく避難ルート、緊急避難場所、災害対策基本法に基づく規制状況等を確認しておく必要があり、合わせて、各種訓練を実施することで御嶽山火山防災に対する署員の意識を高める。 (内容)登山訓練、携帯通話訓練、ガス濃度検知訓練	R4.7
13	御嶽山安全指導所の開設	木曽町	(開設場所・期間) 六合目休憩所、七合目行場山荘、八合目女人堂、九合目石室山荘、二ノ池山荘 (内容) 登山者への声掛け、情報提供、登山道・看板・規制ロープの確認及び修繕等、情報案内板設置	R4.7 ～ R4.10
14	登山道整備	木曽町	(内容) 登山道の整備 (成果) 緊急避難路として登山道を活用	R4.7 ～ R4.10
15	情報伝達訓練	王滝村	(内容)パトロール員と無線機による非常時の情報伝達についての確認 パトロール員、御嶽神社と防災行政無線個別受信機の受信確認 (成果)王滝村と王滝頂上の伝達方法の確認	R4.7 ～ R4.10
16	王滝頂上避難施設運用開始	王滝村	(目的)王滝頂上付近の安全対策の充実 (内容)登山者の避難・休憩施設として、また、パトロール員の活動拠点として噴石対策を施した避難施設の運用開始。 王滝頂上までの規制緩和期間中、パトロール員が常駐。	R4.7 ～ R4.10

17	御嶽山八丁だるみ避難壕設置工事	王滝村	(目的)王滝頂上から剣ヶ峰間の規制緩和に向けた安全対策 (内容)王滝頂上から剣ヶ峰の登山道脇に鋼製のシェルターを1基設置。	R4.7 ~ R4.12
18	防災シェルターの整備	木曽町	(目的)噴火発生時の噴石を防ぐシェルターを整備し、登山者の安全確保を図る。 (成果)令和4年度に旧剣ヶ峰山荘跡地に鋼製シェルターを2基設置した。 (これにより剣ヶ峰エリアに6施設を整備) (課題)シェルターの認知度及び登山者の避難行動を把握・検証するため避難訓練を実施し、その内容を名古屋大学御嶽山火山研究施設に検証していただいた。それにより、シェルターの無いエリア(黒沢十字路から剣ヶ峰の区間)での身を守る避難行動の重要性が明らかとなってきた。	R4.8 ~ R4.10
19	木曽町防災訓練	木曽町 (御嶽山二ノ池飲料水管理組合)	9/11に実施された木曽町防災訓練において、各組合員が経営する山小屋周辺において登山者や周辺の状況確認作業を実施し、木曽町で配備された無線機及び携帯電話にて伝達訓練を実施。また、各小屋に配備された広報スピーカーの動作確認を行った。	R4.9.1
20	登山者参加型避難訓練 & 御嶽山チャレンジ	木曽町、国立研究開発法人 防災科学技術研究所 【後援】長野県(危機管理防災課)、御嶽山火山防災協議会(長野県) 【協力】御嶽山火山マイスターネットワーク、国立大学法人名古屋大学(御嶽山火山研究施設)、一般社団法人富士山チャレンジプラットフォーム	(目的)御嶽山において、木曽町防災無線や防災シェルターを使用した登山者参加型の避難訓練を実施し、①防災シェルターの認知度、②噴火時における登山者の避難判断および経路、③噴火時、登山者の位置における避難意識と行動の変化を確認・検証する。 (成果)登山者620名が参加し、訓練サイレン吹鳴時に山頂で約30名の登山者がシェルターに避難した。 (課題)訓練時に防災無線の不調により一部、放送が流れない不具合が発生した。来年度以降、継続した訓練の実施ができるかが重要である。	R4.9.17
21	登山者参加型避難訓練の実施協力	名古屋大学御嶽山火山研究施設	御嶽山2014年の噴火を想定した登山者参加型避難訓練を実施するため、主催者の木曽町と実施方法、アンケート内容、調査方法など実施に資する打合せを行った。また当日は、主催者に全面協力して、記録係チームとして剣ヶ峰に登り、避難訓練時の登山者の安全確保および行動調査を行った。また当日、登山口にて、アンケート調査を行った。	R4.9.17
22	岐阜県・岐阜県警・(株)ヤママップによる山岳遭難防止に向けた連携協定	岐阜県 岐阜県警察本部	「岐阜県北アルプス地区及び活火山地区における山岳遭難の防止に関する条例」に定める登山届提出の利便性向上及び山岳遭難事故の未然防止並びに山岳遭難者の捜索・救助活動の迅速化を目的に岐阜県、岐阜県警察、株式会社ヤママップの三者協定を締結	R5. 1.17

## 2 啓発対策

	実施項目	実施主体	概要	実施時期
1	県警ホームページへの掲載	長野県警察本部	長野県警ホームページ内に「災害に備えて」と題する項目を掲載し、継続した啓発活動を実施	通年
2	御嶽山火山マイスターの認定	長野県 木曾町 王滝村	火山防災に関する知識の効果的な普及・啓発を担う御嶽山火山マイスターの第5期の認定をし、その活動を支援した。	通年
3	高山市ホームページ御嶽山関連記載内容の見直し	高山市	御嶽山火山防災避難計画の改訂に伴い、規制箇所等の記載内容を見直し ※6/23噴火警戒レベルの引下げに伴い記載内容を変更	R4.4
4	御嶽山ビジターセンターの整備	長野県 木曾町	王滝村田の原へ「やまテラス王滝(長野県立御嶽山ビジターセンター)」を、木曾町三岳に「さとテラス三岳(木曾町ビジターセンター)」を整備し、令和4年8月27日に同時開館した。 施設においては、登山者が御嶽山へ安全に登山できるように、火山防災に必要な情報発信や火山防災知識の普及・啓発を行っている。 また、さとテラス三岳には名古屋大学御嶽山火山研究施設が併設され、火山研究の拠点となるとともに、御嶽山火山マイスターによる地域の魅力発信等の活動拠点として活用が期待されている。	R4.4～
5	ビジターセンター展示監修と教育普及活動	名古屋大学御嶽山火山研究施設	さとテラス三岳の展示構成の監修と展示物の作成(プロジェクションマッピング、チバニアン地層剥ぎ取り、火山メカニズムのパネル、地質断面図、クイズ、企画展示ケース)、および火山に関する実験講座(プレオープン企画、三岳小タイムライン授業の一部)を実施した。	R4.4～
6	岐阜県博物館令和4年度特別展に協力	岐阜地方気象台 (岐阜県主催)	飛騨高山まちの博物館で開催した令和4年度特別展示「今日から防災！一過去を知り、未来へ備えよう」において、岐阜地方気象台の地震・火山広報資料等を展示協力し火山防災の意識啓発を実施した。	R4.4.9 ～ R4.6.5
7	火山防災マップの配布による啓発	岐阜県	県で作成した「御嶽山火山防災マップ」を自治体等に送付し、安全登山に関する啓発を依頼	R4.6 ～ R4.8
8	立入規制周知ポスターの掲出	木曾町 王滝村 長野県 上松町	御嶽山の規制状況を図示したポスターを登山者、観光客に周知した。 (掲示場所:登山口、道の駅、観光施設等に100枚程度)	R4.6～
9	御嶽山の登山者に対する安全登山の指導啓発	岐阜県 下呂市 御嶽山山岳遭難防止対策協議会 岐阜県警察本部	小坂登山口において、登山者に対して、登山届の提出や登山装備品の確認など、活火山への安全な登山に関する指導啓発を実施	R4.7 ～ R4.9
10	御嶽山パトロール・啓発活動	下呂市	下呂市御嶽山山岳遭難防止対策協議会が実施する御嶽山パトロールへの参加 参加者:8名(下呂市消防本部職員) 内容:パトロール及び登山者への啓発活動	R4.7 ～ R4.10
11	登山者向けチラシの作成・配布	木曾町	(内容) 規制緩和の期間中に登山者に対し案内チラシを作成・配布 (配布先) おんたけロープウェイ	R4.7 ～ R4.10

12	看板、音声による注意喚起	木曾町	(内容) 御嶽山が火山であり登山にはヘルメットが必要であること、頂上付近での滞在時間を短くするよう呼びかける看板を設置 また、同内容の音声案内をおんたけロープウェイ駅舎及び、中の湯登山道入り口の休憩所にて繰り返し放送を実施	R4.7 ～ R4.10
13	登山者向けチラシの作成・配布	王滝村	(内容) 規制緩和期間中に登山者に対し案内チラシを作成・配布 (配布先) 登山道入口、田の原遥拝所	R4.7 ～ R4.10
14	看板による注意喚起	王滝村	(内容) 御嶽山が活火山であり登山にはヘルメットが必要であることを呼びかける看板を設置	R4.7 ～ R4.10
15	御嶽山登山安全指導所	木曾町 (御嶽山二ノ池飲料水管理組合)	黒沢口登山道沿いにある組合員が経営する山小屋において、ヘルメット着用等の啓発活動、登山道情報の提供、御嶽登山に関する相談等の対応を実施した。	R4.7.1 ～ R4.10.20
16	安全登山・火山防災啓発活動	木曾町 王滝村 御嶽山火山マイスターネットワーク 御嶽山火山防災協議会(長野県)	(目的) 登山者への火山御嶽山への安全登山を啓発する。 (成果) 御嶽山登山口等(御岳ロープウェイ鹿ノ瀬駅、中の湯、黒沢十字路、剣ヶ峰)において、登山者に向けた安全登山・火山防災啓発活動を実施。啓発媒体等を作成し、媒体の配付や声かけ等による啓発活動を計4回実施した。 (課題) 啓発活動の継続と機会の確保	R4.7.10 R4.7.24 R4.8.11 R4.9.17
17	山岳パトロールによる火山防災啓発及び登山指導	下呂警察署	小坂口から五の池小屋周辺における山岳パトロールを実施し、登山者に対する火山防災啓発及び登山指導を実施した。	R4.8.20 R4.10.9
18	安全・安心メール	岐阜県警察本部	当県警の独自の広報媒体となる安全・安心メールを活用して、同メールを登録している方に対して、「火山噴火に備える」と題して、登山者に対する火山啓発及び登山指導を実施した。	R4.8.30 R4.9.1 R4.9.5
19	ラジオ広報	高山警察署	ラジオ媒体(飛騨高山テレ・エフエム)を活用した火山防災広報を実施した。	R4.9.13
20	安全啓発広報 登山者指導	木曾警察署	御嶽山黒沢口登山道9合目付近において、登山者に対する安全啓発活動と安全指導を実施。	R4.10
21	市防災訓練における広報	高山警察署	高山市防災訓練で、高山警察署広報ブースを開設し、御嶽山噴火災害パネルの展示広報を実施した	R4.10.2

22	登山届の提出にかか る周知看板作製	岐阜県	想定火口域の変更に伴い各登山口5箇所に設置してある条例周知看板の架け替えを行うとともに、登山者への情報提供を目的にラミネートされたA3紙が掲示可能なパネルを看板1箇所につき2枚ずつ設置	R4.10.14
23	御嶽山火山マイスター 認定審査事前講習会	長野地方気象台 名古屋大学御嶽山 火山研究施設	御嶽山火山マイスター認定審査事前講習会において、講習を実施。 長野地方気象台:火山に関する防災情報 名古屋大学御嶽山火山研究施設:御嶽火山の特徴	R4.12.10 R5.1.11 R5.1.17
24	岐阜県警職員向け教 養講座	岐阜地方気象台	岐阜県警にて防災対策業務に従事する職員へ、防災知識(地震火山、気象)普及に向け講義を実施した。	R4.12.12
25	シンポジウムの開催	御嶽山・箱根山・草 津白根山 シンポジウム実行 委員会 (木曾町) (王滝村) (名古屋大学御嶽 山火山研究施設) (御嶽山火山防災 協議会(長野県))	名古屋大学地震火山研究センター、東京工業大学火山流体研究センター、木曾町、王滝村、御嶽山火山防災協議会(長野県)の5団体を主催とするシンポジウム:御嶽山・箱根山・草津白根山一水蒸気噴火および防災と観光一を、箱根山・草津白根山の関係者を招き、木曾町文化交流センターホールにて開催。企画・運営および防災に関する成果発表等を行った。 (参加者数)1日目(水蒸気噴火に関する学術シンポジウム):217名(会場53名、Web164名) 2日目(防災と観光に関するシンポジウム):197名(会場81名、Web116名)	R4.12.16 ~ R4.12.17
26	山岳遭難防止条例周 知用ポスター・チラシ の作成	岐阜県	御嶽山登山者に対して山岳遭難防止条例(登山届の提出義務)の徹底及び登山時のヘルメット着用時安全登山の啓発を図るためのポスター、チラシの作成	R5.1
27	火山読本の修正、配 布	岐阜県	火山防災の啓発のため、小中学生を対象としたテキスト「火山を知る本」を作成し、小坂小学校、小坂中学校の生徒に配布	R5.2
28	山岳専門誌及びフ リーペーパーによる啓 発	岐阜県	登山者に対して山岳遭難防止条例の周知徹底を図るため、山岳専門誌3誌及びフリーペーパー1誌に啓発広告を掲載	R5.2 ~ R5.3

3 その他

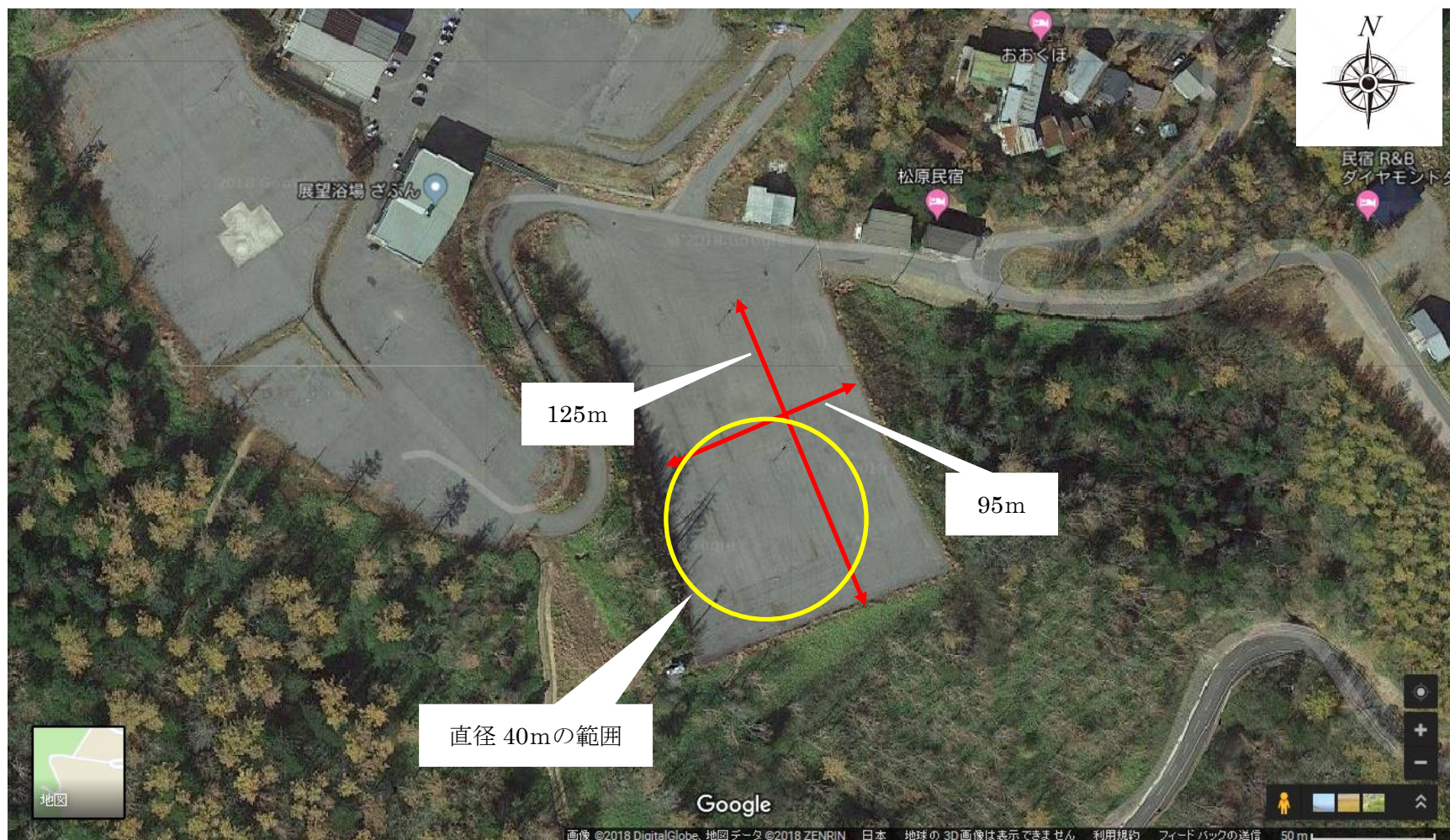
	実施項目	実施主体	概要	実施時期
1	火山活動監視・評価	気象庁 地震火山部 火山監視課 火山監視・警報センター	地震計・空振計・傾斜計・GNSS・監視カメラ等による火山活動の監視を行うとともに、地熱等の現地調査を実施した。 得られた観測データを基に火山活動の評価を行い、評価結果について火山噴火応急対策支援サイトの火山活動解説コメントで協議会構成機関に毎日お知らせするとともに、毎月の火山活動解説資料を作成・公表した。	通年
2	名古屋大学御嶽山火山研究施設の運営支援	長野県 木曾町 王滝村	御嶽山の火山防災対策強化のため、名古屋大学御嶽山火山研究施設の運営を支援 (施設の役割)御嶽観測研究の拠点、人材育成、防災教育、御嶽山火山マイスターとの連携	通年
3	土石流対策及び減災対策の推進	木曾建設事務所	御嶽山噴火により堆積した火山灰や降雨・融雪等による土石流対策として、2溪流で砂防堰堤の整備を推進 (砂)濁沢川 王滝村 柳ヶ瀬(平成27年度事業着手) 令和4年度実施内容:砂防堰堤工 (砂)白川 木曾町 白川(平成28年度事業着手) 令和4年度実施内容:砂防堰堤工	通年
4	御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画	木曾建設事務所	御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画(令和2年3月改訂、多治見砂防国道事務所、長野県、岐阜県)で計画されている降灰後の土石流や融雪型火山泥流の被害を防止するブロック堰堤のためのブロックの備蓄 令和4年度実施内容:ブロック製作・備蓄 198個	通年
5	御嶽山周辺の地殻変動監視	国土地理院	国土地理院の設置する電子基準点網(GEONET)及びだいち2号(ALOS-2)による干渉SAR技術を用いて地殻変動を監視し火山噴火予知連絡会等に報告	随時
6	御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画	木曾建設事務所	御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画(令和2年3月改訂、多治見砂防国道事務所、長野県、岐阜県)における長野県内のハード対策の実施計画検討業務に実施	R3~R4
7	土石流対策及び減災対策の実施	林野庁 中部森林管理局 木曾森林管理署	木曾町の国有林内において、平成26年の御嶽山噴火災害で荒廃した溪流の復旧・予防対策として治山工事を実施。 ①倉本湯川復旧治山工事:山腹工1箇所0.4ha(R5年度へ繰越) 木曾町 黒沢御岳国有林854林班	R4 (工事実施はR5)
8	御嶽山周辺地理調査 防災体制の指導	木曾広域消防本部	各種災害に備え、王滝村八海山のヘリポート調査を実施。(別添資料参照) 御嶽ビジターセンターやまテラス王滝の新設に伴う消防用設備等の取扱い及び防災指導の実施	R4.4.20 R4.8.12
9	観測・調査、保守、教育	(名古屋大学御嶽山火山研究施設) 名大・気象庁・東大・日大 名古屋大学地震火山研究センター	1. 御嶽山水準測量(定例)およびその準備(実施者数12名) 2. 地震計・GNSS等の保守・点検(適時)	R4.5.7~14  R4.4~

10	現地視察	下呂警察署	立ち入り規制変更地点等の確認のため、現地視察を実施した。	R4.6.13
11	避難促進施設の 防災体制の強化	木曾町 (御嶽山二ノ池飲 料水管理組合)	各山小屋に配備されているAEDの更新	R4.6.20
12	情報伝達訓練の際の 地図の提供	国土地理院	御嶽山火山防災協議会主催の情報伝達訓練の際に周辺地図を提供	R4.6.28
13	登山者アンケート	(名古屋大学御嶽 山火山研究施設) 御嶽山火山マイス ターネットワーク 防衛大学校	御嶽山の登山者に対して、登山や噴火災害に関するアンケートを実施した。分析を防衛大学校に委託して、その結果をマイスターネットワークで共有するとともに、シンポジウムで情報を公開した。QRコード印刷枚数3000枚、回答数201	R4.7 ～ R4.10
14	県警ヘリによる目視 確認	長野県警察本部	県警ヘリにより、御嶽山噴火災害行方不明者の上空からの目視確認を実施	R4.8.23 R4.8.29 R4.10.26
15	災害対処訓練	高山警察署	高山警察署総合防災訓練で、全署員を対象にヘリ誘導要領を教養し、迅速な救助活動等への対処能力向上を図った。	R4.9.1
16	火山防災学習	木曾町	(目的)2014年に発生した御嶽山噴火災害について、若い世代へ継承するとともに、体系的に火山防災について学ぶことで、火山との共生を考える機会とする。 (成果)三岳小5・6年生14名を対象とした火山防災学習を3回構成で実施した。 (総合学習の時間) (課題)講座の他校への拡大をどのように取り組むか。講座を既に受講した学生(中高校生)に対する発展的な講座の実施	R4.9 R4.10 R4.11
17	御嶽山現地見学会	多治見砂防国道事 務所	多治見砂防国道事務所では、御嶽山の噴火に伴って発生する降灰後土石流、融雪型火山泥流等の土砂災害による被害をできる限り軽減(減災)することを目的として、御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画を策定している。今回、噴火発生時に土砂災害対策のために協力する国および主体となる岐阜県・長野県、御嶽山周辺の市町村等12の関係機関から25名が参加し、御嶽山の現地見学会を開催した。 前半は、御嶽山ビジターセンター(さとテラス三岳)で、及川先生の講義、後半は御岳ロープウェイまで移動し、監視観測機器や過去の噴火で堆積した火山灰を見学した。	R4.10.26



18	公表(論文・学会等)	(名古屋大学御嶽山火山研究施設) 日本火山学会	1. 金 幸隆・川上明宏・近藤裕吾・野田 智彦・山岡耕春(2022):御嶽山ビジターセンターを活用した火山教育と防災啓発の意義, 日本火山学会2022年秋季大会講演要旨集, P2-14. <学会講演>	R4.10.18
		消防防災科学センター	2. 金 幸隆・山岡耕春(2022):大学と自治体が連携した御嶽山の火山防災 –ビジターセンター整備、火山防災タイムライン授業、避難訓練–, 消防防災の科学, no150(2022秋号), PP.11-16.<論文>	R4.11
		全国火山系博物館 連絡協議会	3. 金 幸隆(2022):8月27日オープン 御嶽山ビジターセンター, 全国火山系博物館連絡協議会研修会資料 <紹介・発表>	R4.9.5
		御嶽山・箱根山・草津白根山 シンポジウム実行委員会	4. 金 幸隆(2022):登山者参加型避難訓練:アンケートに基づく登山者行動の把握, シンポジウム:御嶽山・箱根山・草津白根山ー水蒸気噴火および防災と観光ー. <講演発表>	R4.12.17
19	御嶽山火山基本図公開	国土地理院	令和4年11月1日、火山基本図データ「御嶽山」(32面)について、国土地理院ウェブサイトからのダウンロード提供とオンデマンド受注方式によるインクジェット出力図の刊行を開始。(別添資料参照)	R4.11.1

# 八海山地区防災ヘリ離着陸可能箇所平面図



## 火山基本図データ「御嶽山」のダウンロード提供と インクジェット出力図の刊行開始について

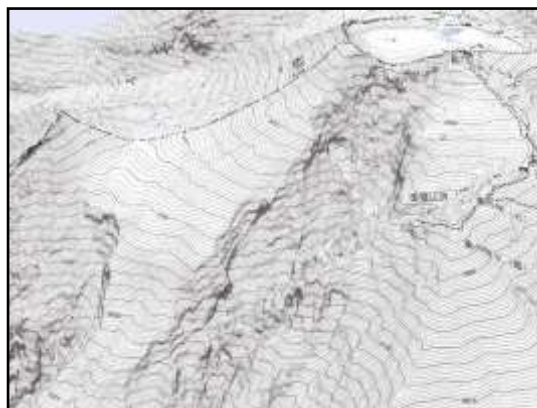
令和 4 年 11 月 1 日、火山基本図データ「御嶽山」(32 面)について、国土地理院ウェブサイトからのダウンロード提供\*<sup>1</sup>とオンデマンド受注方式によるインクジェット出力図の刊行\*<sup>2</sup>を開始しました。

火山基本図データは、火山の地形を精密に表す等高線や火山防災施設等を表示した地図情報レベル 2500～5000 の地図データで、現在まで 29 火山の火山基本図データを提供し、火山噴火時の地形把握や災害対策、防災計画や火山研究等に活用されることが期待される地図です。また、国土地理院のウェブ地図「地理院地図」\*<sup>3</sup>では、火山基本図データの閲覧や 3D 表示も可能です。

### 火山基本図データの主な特徴

#### ① 等高線がより詳細な地形表現に

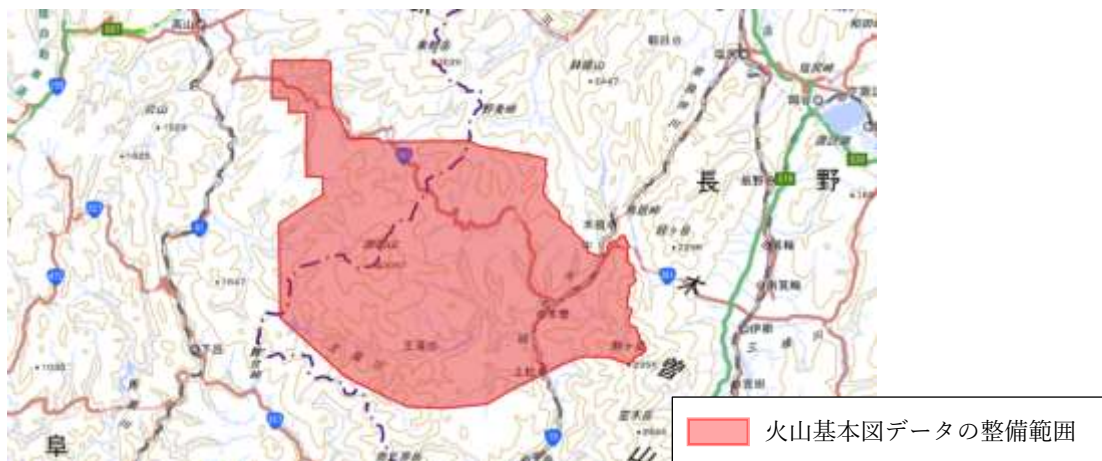
2 万 5 千分 1 地形図は空中写真測量による 10m 間隔の等高線を表示していますが、火山基本図データは航空レーザ測量による標高データを用いて作成し、より詳細な地形表現になりました。



2 万 5 千分 1 地形図 (左) と火山基本図データ (右) の比較 (御嶽山地獄谷付近: 3D 表示)

#### ② 火山体全域を整備

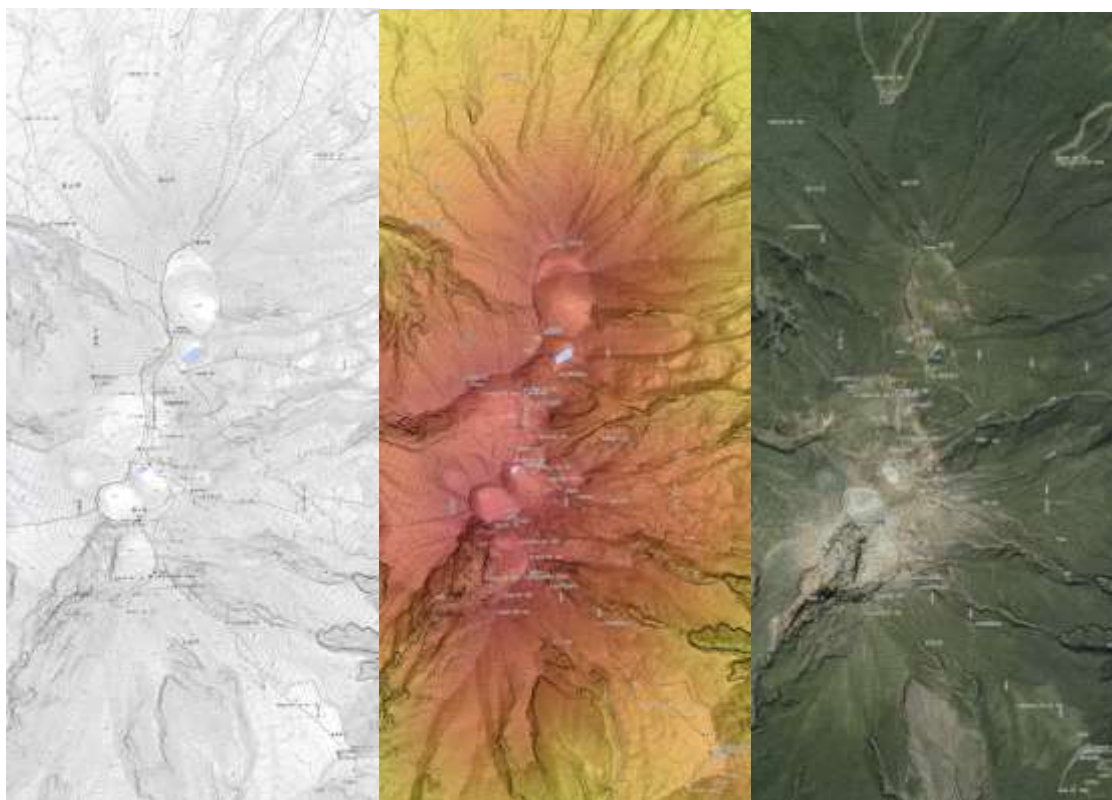
火山基本図データは、火山噴火時に被害が想定される範囲をカバーするような形で作成し、広域の避難計画準備等にも対応する地図です。



火山基本図データ「御嶽山」の整備範囲

### ③ 3種類の地図を提供

火山基本図データは、以下3種類の地図を提供しております。様々な情報との重ね合わせが可能な、いわばベースマップとも呼ばれる**基図**、火山の標高（地形の起伏）が視覚的に表現された**陰影段彩図**、現地の様子をよりイメージしやすい**写真地図**の3種類となります。用途に合わせてご活用ください。



左から、火山基本図データ（基図）、火山基本図データ（陰影段彩図）、火山基本図データ（写真地図）（御嶽山山頂付近）

#### ※火山基本図データ入手方法

##### ①ダウンロード

\*<sup>1</sup>国土地理院ウェブサイト URL <https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/volcano-maps-vbm-data.html>

（ダウンロード提供データ形式）

◆ベクターデータ：DM、Shapefile（1火山1ファイル）

◆画像データ（基図、陰影段彩図、写真地図）：JPEG、GeoTIFF（図面単位）

##### ②インクジェット出力図（刊行図）

\*<sup>2</sup>刊行図の入手先（（一財）日本地図センターに注文） URL [https://www.jmc.or.jp/buy\\_map\\_kami\\_02.html](https://www.jmc.or.jp/buy_map_kami_02.html)

#### ※火山基本図データ閲覧方法

\*<sup>3</sup>地理院地図 URL <https://maps.gsi.go.jp/>

#### お問い合わせ先

国土交通省 国土地理院応用地理部 地理調査課火山調査係 TEL：029-864-5907

地理情報処理課火山地理情報係 TEL：029-864-5928

E-mail：[gsi-volcano2+@gxb.mlit.go.jp](mailto:gsi-volcano2+@gxb.mlit.go.jp)

国土地理院関東地方測量部 防災課防災企画係 TEL：03-5213-2054

E-mail：[gsi-bosaika-kan10@gxb.mlit.go.jp](mailto:gsi-bosaika-kan10@gxb.mlit.go.jp)